

WELLMAGA

JANUARY
2022
002

THERE IS A REASON FOR A GOOD HOUSE



 *Wellnest Home*

FLEXIBILITY AND INDIVIDUALITY
THAT GOES BEYOND SIMPLICITY

THE LATEST NEWS

最新ニュース

香川県高松市に「よはくの家」モデルハウスが完成

2021年12月20日、ウエルネストホームが設立10年目を迎えて初めて商品化された「よはくの家」がリリースいたしました。それに合わせて、第一号となる「よはくの家」モデルハウスが私たちの創業の地である香川県高松市に完成いたしました。

これまでウエルネストホームで提供してきた家は、フルオーダーで「ウエルネストホーム」自体が商品でした。注文住宅でお施主様から寄せられる「打ち合わせが多い」「決めることが多い」「値段が高い」という悩みを、開発してきた技術と性能はそのままに、プロが厳選したデザインからセミオーダー感覚で自由に間取りを設計できるようにしたことと解消しました。

2階リビングプランを基本とし、勾配のある三角屋根を合わせることで開放感のある高天井を実現。一階には各居室をまとめ、柱と壁を増やすことで耐震性を向上させています。家全体の空調は、専用部屋に設置したエアコン2台を運転させ、快適な空気をダクトで各部屋に届けるため、部屋ごとにエアコンを設置する必要がありません。各部屋には風量を調節できるスイッチを設置し、空調の強弱変更が可能です。標準プランで部屋のサイズや目的に合わせて造作家具を提案することで、具体的な完成後のイメージをご提供します。最小限の選択でクオリティの高いデザインを実現し、お客様の理想に添えたいける商品になりました。



北海道ニセコ町 まちづくりプロジェクト

2020年12月、北海道のニセコ町に1棟の集合住宅が完成しました。この集合住宅は1K×2、1LDK×4、2LDK×2の8戸で構成され、共有部の廊下に6畳用のエアコンが1F、2Fそれぞれに2台設置されています。エアコンはなんとこのたった4台のみ。各部屋にはエアコンはなく、500Wの小さな非常用暖房器具があるだけ。廊下を温め、その熱を設計段階で緻密に計算された換気システムで循環させることで、建物全体を快適な19〜22℃でキープすることに成功しました。

この集合住宅の次のステップが地域（まち）を持続可能にすることです。そのための基礎が建築物であり、建築物で十分な実績を得た私たちは街づくりへとそのフィールドを拡げました。戸建て住宅、集合住宅の建築ノウハウを生かして、約500人が居住するSDGsモデル街の開発に携わっています。



SDGs未来都市に選定されている「北海道ニセコ町」での取り組みです。官民連携の証として、自治体、地元企業、早田が代表理事を務めるクラブヴォーバンが出資し、2020年11月に株式会社ニセコまちと包括連携協定を締結しました。そして、この街区では従来通りに街づくりを進めた場合と比較して年間600t（従来街区比47%減）のCO₂削減が可能となっています。3月25日には官民連携を進めてきた北海道のニセコ町視察ツアーが開催されます。プロジェクト始動から足掛け4年の計画が、いよいよ工事着工の段階に入っていきます。



西東京にモデルハウス建設中

2022年夏の完成に向けて、21年12月から、西東京モデルハウスの工事が始まりました。ウエルネストホームでは都内のモデルハウス第一号としてのオープンとなります。首都圏周辺で家づくりを検討されている方にとっては、より足を運びやすい場所になるのではないのでしょうか。

ここに完成するのは「よはくの家」に続くブランド「えがく家」モデルハウス。「えがく家」はまさにこれまで当社が主力で販売してきた完全注文住宅の商品です。私たちが開発した技術で、お客様の理想を一緒に「えがく」ブランドです。2022年夏オープンに向けて建設中です。ウエルネストホームの家づくりに賛同してくださったお客様のために、そして一人でも多くのお客様にウエルネストホームの家を建てていただけるように、商品開発を進めています。

HISTORY WH10年間のあゆみ モデルハウスの試み

- 2007 早田、ドイツフライブルク市ヴォーバン住宅地を視察「この街を日本につくりたい！」強い思いと実行力で本格的に活動を開始
- 2009 環境ジャーナリストの村上敦と一般社団法人クラブヴォーバンを設立 設計統括部長の小林、今泉、太爾氏ドイツ視察
- 2010 石川副社長ドイツ視察 代表理事として早田が一般社団法人日本エネルギー協会設立 「エネルギーパス」を日本へ輸入
- 2011 東日本大震災 日本エネルギー協会年間セミナー220回開催 当時の国土交通大臣 前田氏へエネルギーパスの説明、はたらきかけを行なう
- 2012 早田が株式会社低燃費住宅の社長に就任 日本エネルギー協会代表理事を早田から今泉氏へ 香川県高松市伏石モデルハウスが第一号のモデルハウスとして完成 日本国内では再生可能エネルギーの普及拡大、太陽光発電の普及
- 2013 UA値（ISO計量）が国で活用され始める 日独国交省連携プロジェクトとして高松市国分寺にプラスエネルギーハウス完成（UA値0.12W/m²K）
- 2014 香川県丸亀市 5戸1棟完成（UA値0.20W/m²K） エアコン1台で300㎡の温度調整を賄う 国土交通省「省CO₂先導的モデル事業」として認定される
- 2015 愛知県長久手モデルハウス完成オープン ↓冷温水パネルヒーター、ダクト換気システムの導入検証 ↓地中熱ヒートポンプ導入検証
- 2016 大阪府和泉モデルハウス完成 ↓躯体すべてに緑の柱を使用、ドイツのDRI社とデザイン 仙台モデルハウス完成 WELNEST HOMEへ社名を変更 芝山が代表に就任
- 2017 WELNEST HOMEへ社名を変更 芝山が代表に就任
- 2018 浜松モデルハウス完成 ↓外壁にレンガを使用し導入検証
- 2019 今泉邸完成、早田邸完成 ↓エアコンダクト空調システムの導入検証 外部ブラインド、ダクト空調などの設備の自動化の導入検証 金沢モデルハウス完成
- 2020 エアコンダクト空調システムを導入し検証 大阪千里山モデルハウス完成 ↓エアコンダクト空調システム導入検証、加えて防音ドアを設置開始、ヘリオス社の換気システムを導入開始
- 2020 鎌倉モデルハウス完成 ↓エアーダクト空調システムの完成と日射取得自動化システムの導入 ↓冬の無暖房を実現
- 2021 香川県高松伏石モデル完成から10年、今一度原点に立ち返った基本となる商品を開発。価格、デザイン、性能のバランスを考えた初の商品化「よはくの家」完成 「まじく家」「えがく家」… お客様のニーズに応えるべく新商品を開発中
- 2022

MESSAGES FROM BRANCH MANAGERS

支店長からのメッセージ (①.2021年を振り返って/②.2022年の抱負)

東海支店 京谷忠幸 ぎょうたにただゆき

① 新しく元気な営業メンバーも加わり、より良い雰囲気作りを促進させることができました。そのムードがお客様にも伝播することを実感できた一年となりました。② 生活が少しずつ戻りつつあります。点検や御用伺いと、オーナー様の元へ足を運ぶ機会を増やしていきたい！そして、新しくご縁を頂いたお客様へは、家づくりの楽しさを熱く伝えられるチーム作りをしていきます。

首都圏支店 瓜生一光 うりうかずみつ

① 完成から一年以上に渡って性能の検証をしてきた鎌倉モデルハウス。多くのお客様に快適な環境を体感いただけました。また、OB様宅訪問や夏冬の見学会開催等体制が整ってきた一年でした。② 2022年は小平市に西東京モデルハウスのオープンを予定しています。これまでに増して多くのお客様にご来場いただけるようしっかり準備を進めていきたいと思えます。

近畿支店 村上勲 むらかみいさお

① 支店内でスローガンを掲げてチームの結束力強化と、個々の能力の底上げを図った一年でした。ただ、様々な諸問題もあり、お客様への実装をもっと考えなくてはと反省した二年でもありました。② 近畿支店メンバー個々に強みがあり、互いに弱みを補い合う関係を築いています。シナジーを最大限に活かしながら、これからもお客様に住まいづくりのお手伝いを精一杯させていただきます。

西日本支店 中山裕司 なかやまゆうじ

① オフィスと同じ建物内にあるカフェのリニューアルや、新モデルハウスのオープンなどといった一年でした。中でも思い入れの深い第一号の伏石モデルハウスの売却は感慨深いものがありました。② 全国でも唯一の「よはくの家」モデルハウスを多くの方に知っていただきたいです。新メンバーも加わり、ウエルネストホーム&ウエルネストエッジニアリングともに盛り上げていきます。

MESSAGES FROM OFFICERS

役員からのメッセージ

家づくりから街づくりへ

私が2007年にドイツの街を初めて訪れた際に思ったこと。それは、「いつかこんな街をつくりたい」という憧れのような想いでした。そこから私は創業者の早田と、そして多くの仲間たちと共に未来の子供たちのために社会を変えていこうと尽力してきました。早田が元左官屋の研究者であり、性能をどこまで追求するイノベーターであるならば、私は「家づくりは単づくりにある」という母親目線で、住環境がもたらす家族の健康や幸せを世間に広めるスピーカー、すなわち広告塔の役割に徹することを決めて走り続けてきました。

おかげさまで2019年のWBSへの出演を皮切りに、数多くのメディアに取り上げていただくことができました。2020年11月には、日経新聞社主催の「SDGsフォーラム」に登壇。2021年11月には、同じく日経新聞社主催の「地方創生フォーラム」に12月にはSDGsフェスティバルと「まんなか」に立って登壇する機会をいただきました。これまでの大きなメディアに取り上げていただいたその背景には、ウエルネストホームが歩んできた10年の道のりがあったからこそだと思っています。

日本全国の人に届きたい 集合住宅にも本格参入

2012年に産声をあげたウエルネストホームもいよいよ10年を迎えます。ひとえにこれまで建ててくださった皆様からの温かい応援があったからこそ、強く思っております。心から感謝申し上げます。

2020年から現場の指揮をさゆり社長と中谷営業本部長に任せ、私は研究開発に注力する体制にシフトチェンジしました。それが形になってきたのかなと実感しています。その結果、次に述べる新商品の開発や街づくりを推進することができました。これまでウエルネストホームは、高松の伏石につくったモデルハウス第一号をスタンダードとして、そこにお客様のご要望をプラスした自由設計の家を提供してきました。それは「ウエルネストホームの家」であり、商品名というものは特別存在していませんでした。

そこで今年、新たな試みとしてコンセプト商品を開発しました。それが「よはくの家」です。家の究極の形を追求した結果辿り着いた「矩形であり、切妻屋根

創業当時モデルハウスも営業ツールもまだ揃っていない中、想いだけを精一杯お客様にお届けして回っていた頃。その想いに共感して何名ものオーナー様がご契約を結んでくださいました。本当に感謝しきれません。「この家がこれからの世の中には必要だから」「こんな家をずっと待っていた」「そう仰ってくださったオーナー様たちを決して裏切つてはいけません。私はその方々と約束を交わしているという覚悟を持ってメディアに出るよう心掛けています。世の中に発信するメッセージには、私の言葉だけではなく、これまでのオーナー様の想いも込められているからこそ人を感動させ、心の琴線に触れ、結果として数多くのメディアからお声をかけていただけたと確信しています。

その一歩一歩の積み重ねを経て、創業から10年、私がドイツを訪れたからは15年、いよいよ街づくりが本格スタートします。これまで私たちは世界最高水準の戸建てを手掛けてきました。そして、より多くの方が快適な住環境で暮らせるよう集合住宅にも着手し、建物の一部分がすっぽり雪で埋まるほどの極寒の地域でもウエルネストホームの躯体性能が通用することを証明しました。このステップは弊社に

とって非常に大きな意味を持つこととなり、戸建てから集合住宅を経て、念願の街づくりへとジャンプする大きなきっかけとなりました。

その集合住宅のあるSDGs未来都市認定の北海道ニセコ町とは、2020年11月に官民連携である株式会社ニセコまちと包括連携協定を結び、地域の方々をはじめいろいろな企業の方々にも現地を視察していただくことで「輪」が広がっていきました。お金儲けが目的でしたら「この輪」は広がっていかぬかと思えます。そこにあるのは「思い」です。街づくりを計画している9ヘクタールの土地にはまだ何もありません。創業当時何もなくたあの頃と同じくあるのは「思い」です。「思い」は届く。「思い」は伝播する。「思い」はつながる。2022年3月25日には私がガイドを務める視察ツアーも計画しています。

これから街が完成するまでにはまだまだクリアすべき壁があり、時間もかかることとなりますが、2007年に見たあの「住みたくるるるる」を日本でも形にすることが私の天命であり、ウエルネストホームのオーナー皆様と交わした「良い社会をつくる」という約束だと信じ、これからも躍進していきます。

である。という答え。性能のパフォーマンスも最大に発揮される形がそれでした。矩形とは四角い形のことを言います。屋内の動線も取りやすく、スペースを大きく活用できます。そして、切妻屋根とは横から見ると「へ」の字「をして」する屋根のこと。2階リビングの場合、天井高がゆとりを演出し、圧迫感のない広々とした空間をつくることができます。その「よはくの家」のモデルハウスが無事に高松市内に完成しました。2013年に造った「プラスエナジーハウス」の目と鼻の先にあります。ルームツアー動画も公開しておりますので、ぜひご覧になっていただきたいと思えます。

私は創業当時からずっと世界基準の性能を誇る家をお届けしてきました。その性能が日本でも必要だと訴え、先頭を走り続けました。そして、ここにきて国が2050年の住宅脱炭素化に向けて、28年ぶりに住宅性能表示制度の断熱等性能等級の見直しをするという、「や」と日本が俺に追いついてきたか。私はそう思いました。次のチャレンジは普及です。日本全国の多くの方に届けていきたい。その想いで集合住宅にも挑戦しました。ニセコにつくった8世帯の

2階建て集合住宅では、共用部の廊下に設置した家庭用エアコンたった4台のみで全部屋19℃22℃をキープ。極寒の地でもウエルネストホームの性能が通用することを証明しました。ありがたいことに各地からすでに数多くの集合住宅の受注をいただいております。そのニセコでの街づくりプロジェクトも順調に進んでおり、2022年の3月25日には見学ツアーも開催する予定となっております。このあたりは日経フォーラムでも述べているので、本号内のQRコードからアーカイブを「視聴」いただくと嬉しいですよ。また、「よはくの家」に続く新商品も2022年にはリリースしてまいります。ネーミングは「きづく家」。これまでお客様に大事にしていた部分だけを抽出し、ミニマムかつシンプルをコンセプトにした商品になります。詳細はまたあらためてYoutube等で発信していきますのでお楽しみにしてください。10周年イベントも2022年の春から秋にかけて各地で開催していきます。そのときに皆様にぜひお会いしたいと思っています。どうぞ引き続きウエルネストホームをよろしくお願いたします！

代表取締役 創業者
早田宏徳



代表取締役 社長
芝山さゆり



「よはくの家」に続き新商品 22年は「きづく家」リリース

年明けいきなりの緊急事態宣言で2021年も波乱の幕開けかと思つたらあつという年の年でした。本格的な新型コロナウイルスの購入の仕方まで大きく変化することを実感した年でもありました。また、春以降は「ウッドショック」が我々とお客様を苦しめました。私もこの業界長いですが、ここまで短期間に建材資材が高騰したことは記憶にありません。お客様にも一部「負担をいただき、ご迷惑をお掛けしました。激動の一年では、ごさいましたがおかげさまで今年も50棟近くのお客様に当社の住まいを「ご指名」いただきました。誠にありがとうございます。この様な時代背景を受けて、当社も早田を中心に新商品開発に注力した年でもありました。「より多くの方にウエルネストホームを選んでいただきたい」との思いから、デザインやライフスタイルを追求した「よはくの家」をリリース。当社の原点である高松伏石モデルハウスをベースとした究極のスタンダード「きづく家」の開発にも着手しました。2022年早々に皆さんにお披露目できると思えます。

WHらしい「住まい方」で ハッピーな暮らしを

異常気象や自然災害の多発と地球レベルで環境の変化が起こっております。2021年の夏に於いては、これまでとは異なる雨が多く湿度も高い日が続くといった事態でした。ウエルネストホームのオーナー様も、真夏の室内干しの方が断然乾くといった「経験」をされたことと思えます。ウエルネストホームは、こうした外の環境に左右されない躯体性能を持っていることは間違いないです。ただ、普段皆様が生活されている室内環境に目を向けますと、その「住まい方」によって変化が生じる事実は、ぜひ知っていただきたいことではあります。例えるなら、いくら高性能な車があったとしても、ドライバーさんの運転の仕方や使用頻度によってその燃費が大きく変化します。カタログ値がリッター15キロでも、実測10キロを切ることもあります。それと同様に、家にもそのことが当てはまるといっていいです。お住いの人数、料理の頻度、入浴の仕方、部屋干しの回数などオーナー様によって千差万別です。その様々な住まい方の条件の中で、いかにして「ハッピー」を高めていくか。各部屋に温度・湿度計を設置して温度と湿度

さて、2022年。当社は10周年を迎えます。2012年に高松でスタートして、あつという間の10年間でした。これもひとえに当社のオーナー様のご支援のおかげです。本当にありがとうございます。個人的には、2022年、ついに50歳を迎えます。創業当時は40歳、四十にして惑わず。五十にして天命を知る。まさにこの言葉がぴったり私の10年間でした。天命とは、「未来の子どものために、持続可能な社会を遺すこと」。そのために「健康快適な住空間で世界のトップブランドを目指す」ことです。まさにこの天命に従い、今年も突っ走ります。最近、階段登るのも思切れておりますが、最後に2022年、中谷もYoutubeチャンネル「去年もそんなこと言っていたよな、オーナーさん」ご自宅にお邪魔して、ウエルネストホームオーナーさんならではの暮らしの工夫などを取材させていただきたいと思っております。



営業本部長
中谷哲郎

もし住まい方に関して「相談がございませぬ」なら何なりと営業にお問い合わせください。個人的な目標として、2022年はもっと施工現場に足を運び、見て感じて職人さんと話をし課題抽出を行っていきたくと思えます。やるべきこと、やらないことを見極め、オペレーション・エクセレンスを追求していきます。これからもお客様はもちろんです社内に対しても前進し続けるウエルネストホームを見ているように尽力していきます。



代表取締役 副社長
石川義和

EVENTS IN RECENT YEARS

最近の出来事

11

2020.11.26

「日経SDGsフォーラム」へ
代表・芝山がパネリストとして登壇

「地球を考えた家づくり」をしている住宅メーカーの社長として日本経済新聞社・日経BP社主催のSDGsフォーラムへパネリストとして登壇いたしました。



2020

11

2020.11.25

ニセコ町のまちづくりを行なう会社
「株式会社ニセコまち」と
包括連携協定を結びました

株式会社ニセコまちは、ニセコ町が38%出資をし、地域事業者が34%、ウェルレストホーム創業者の早田が代表理事を務める一般社団法人クラブヴォーバンが28%出資をする官民連携のまちづくり会社です。

ニセコ町におけるSDGsまちづくりの事業に関して、弊社ウェルレストホームが、街区設計・コンセプトおよび街区建築設計、施工等の専門的知見を双方で共有をしながら、理想のまちづくりの実現に寄与することで合意をいたしました。

また、株式会社ニセコまちを中心に構成されたメンバーで運営される「都市未来研究会 IN NISEKO」について、弊社ウェルレストホームがスペシャルスポンサーという形で応援しております。

「都市未来研究会 IN NISEKO」は、今後人口が減少していく日本社会において、どのように都市を再編していくのか、社会・経済・環境の3つの要素をバランスよく保ち、持続可能な都市をどのように作っていくかを、ニセコ町を舞台に実践していく研究会です。弊社では、「未来の子どものために」というスローガンを掲げ、まずは都市における最小の単位である住宅について事業展開をまいりました。今後は、持続可能なまちづくりという新しい領域にも展開を見越し、今回の連携協定およびスペシャルスポンサーという形で応援をするに至りました。



6

2021.6.18

虎ノ門オフィス、瑞穂オフィスを開設

より柔軟なお客様へのご対応が可能となるよう、2つのオフィスを新たに開設し、11の拠点でお客様をお迎えいたします。



虎ノ門OFFICE

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28
虎ノ門タワースオフィス19階
BASE TORANOMON内



瑞穂OFFICE

〒467-0027 愛知県名古屋市長瑞穂区田辺通1-1
ニット101ビル1階

2021



株式会社ニセコまちホームページ
<https://nisekomachi.co.jp/>



都市未来研究会 IN NISEKO
<https://toshimiraikenkyukai.com/>

11

2021.11

西東京モデルハウスの
地鎮祭を執り行いました

首都圏、西東京に新たなモデルハウスの建設が始まりました。それに先立ち、早田をはじめとした首都圏スタッフも参加し、工事の安全と携わるすべての方の繁栄を願ってお祈りいたしました。当日はお天気にも恵まれ、清々しい空気の中、気持ちの良い地鎮祭を執り行うことが出来ました。



12

2021.12.1

すべては、未来につながっている、
日本の「どまんなか」から持続可能性を
議論する2日間「日経SDGs FESTIVAL」
の2日目企業講演に代表・芝山が登壇

「誰一人取り残さない社会の実現」のために、私たちの事業を通して「子どもたちが夢を持てる“今”をつくる」というテーマで講演しました。「未来の子どもたちのために、ワクワクして憧れるような“今”を私たちがつくっていかねばいけません。それが持続可能な社会へと繋がっていくのではないのでしょうか」(芝山)



日経SDGsフェスinどまんなか【DAY2】
「誰一人取り残さない」社会の実現



11

2021.11.11

「日経地方創生フォーラム
シンポジウム」へ
代表・芝山と創業者・早田が登壇

日本経済新聞社さんの日経ホールにて芝山はファシリテーターとして、早田はパネリストとして北海道ニセコ町の片山町長と環境ジャーナリスト村上敦と共に登壇いたしました。テーマは、「若者が住みたくなる街、継承したくなる街づくりへのニセコの挑戦」。日本が直面する超高齢化、人口減少が地方に与える影響の深刻化が懸念されている中で、私たちが北海道ニセコ町と官民連携で取り組んでいる実際の事例を取り上げながら、議論、発信を行ないました。



地方創生フォーラム パネルディスカッション
若者が住みたくなる街、継承したくなる
街づくりへのニセコの挑戦

12

2021.12.1

省エネ断熱基準に「等級6」、
「等級7」が新設されます

国土交通省は、住宅性能表示制度において現状、最上位が「等級5(Ua値0.6W/m²K*6地域において)だった断熱等級を「等級6(Ua値0.46W/m²K)」「等級7(Ua値0.26W/m²K)」まで新たに設定する方針を示しました。

我々ウェルレストホームはこれまでのお引き渡し案件全てが、この「等級7」に該当します。いよいよ世の中も高気密高断熱住宅が当たり前時代となってきました。

A HOUSE
THAT EMBODIES
A HUNDRED YEARS OF
WHAT WE ENVISION

YouTube「WHチャンネル」オススメ3動画

最新

高性能アパートが
ニセコに完成!
極寒でも性能は大丈夫?

地域課題解決と
まちづくり

地方の自治体が
集まるコミュニティ



ついに完成!

よはくの家ルームツアー
徹底解説!



WELLNEST HOMEで暮らす皆さまが撮影した写真を募集します!

応募資格 WELLNEST HOMEにお住いのお施主様

撮影場所 ご自宅のどこでも/外構・ご自宅の外観

応募規格 カラー・モノクロ可/スマホ写真可/人物可

応募方法 写真に下記情報を添えて、
Instagramアカウント@wellnesthome宛にDM
もしくはpr@wellnesthome.jpまでお送りください。

①お名前 ②ご自宅のある都道府県 ③竣工年月
④写真の説明(50文字程度まで)
⑤その他 住んでみての感想など

応募上の注意

何度でも何点でも応募いただけます/応募作品は返却いたしません(データ以外で応募いただいた場合)/応募作品は他の写真などの著作権や肖像権に抵触しないよう十分ご注意ください/被写体が人物の場合は必ずご本人の承諾を得てください。被写体が未成年の場合は親権者の承諾が必要です/応募作品に関して著作権や肖像権等に関する問題が発生した場合、主催者は一切責任を負いません/応募作品の使用権や著作権は全て主催者に帰属します。なお、主催者または主催者が許可した個人・団体の発行物やホームページ等において作品の加工又は改変を含む二次使用(商用利用を除く)を行なうことがあります/ご応募をもって、本注意事項に同意したものといたします。